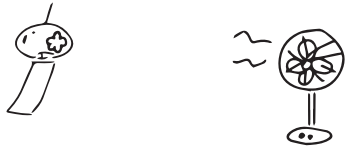


Youth   
Manna

2021/7/5 - 7/11



さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。マルコ 1:35

2021/7/5(月)

## II 歴代誌 11 章

愚かな判断をして国を分裂させてしまったレハブアム王だったけど、今日の箇所では、彼の別の側面が記されているよ。

彼は失った北イスラエルの支配権を取り戻すために戦争を起こそうとしたけど、シエマヤからの主のことばに素直に従って引き返したんだ。そして、最初の三年はダビデとソロモンの道に歩いたので、イスラエル全土の祭司とレビ人は彼の側につき、主を尋ね求めようと心に決めた人たちもエルサレムに来たよ。そして子どもたちの扱いにも賢く事を行なって、後継ぎのことで余計な混乱や争いが起こることを避けたことが記されているね。

自分が今本当になすべきことを知って行うためには、何が必要だろうか。神様によって国が強く立つ歴史を振り返り、今静まって神様に心を向けよう。

2021/7/6(火)

## II 歴代誌 12 章

残念なことに、レハブアム王は、王位が確立し強くなると神様に聞き従うことをやめてしまった。国はエジプトに攻められたけど、彼は預言者によって告げられた神様のことばに耳を傾けてへりくだった。このことを指して著者は「ユダにも良いことがあったのである」と記しているね。

私たちも同じように、多くの罪を犯し、罪深さを抱えている者だけど、私たちが罪に気付かされて悔い改めるなら、神様はそれを受けとめてくださる方だよ。

・君が神様から心が離れてしまいがちになる時は、物事が順調に見える時と難しく見える時、どちらだろう？

・心をふらふらさせず、真っ直ぐ神様に定まるためにはどうすれば良いと思う？

・今日もイエス様にとどまって歩めるようにお祈りしよう！

2021/7/7(水)

## II 歴代誌 13 章

父王(レハブアム)が身を引いた北王国との戦いに、アビヤは取り組んでいる。アビヤは北王国との戦いに挑んだが、その戦いは国の勢力差を反映して、北は南の倍の軍勢を備えた。敗北がおかしくない状況である。そのとき、アビヤは山上から北の軍勢に向かって叫んだ(4-12)。圧倒的な敵勢力を前にして、神のみこころを土台とする以外に戦いは成り立たないと宣言した。「神により頼んだ」(18) 結果、アビヤは不利と思われる北王国との戦いに勝利した。

いつも主を信じる信仰に立ち続けることができるよう祈ろう！

2021/7/8(木)

## II 歴代誌 14 章

今日はアビヤの後に王となった息子のアサ王について記されている。アサ王は、自分が神様を礼拝しただけでなく、3節に「高きところを取り除いた」とあるように民の信仰姿勢も改革した。王たちの中には、自身は信仰を持ちながらも自分の国の民の信仰には介入しない王もいたけれど、アサ王は信仰を導く指導者としての責任も担ったのである。

そしてアサ王は神様により頼み、数の面で大きく上回るクシュ人の軍勢に勝利し、非常に多くの戦利品を手に入れた。(13節)

あなたは神様により頼んでいるだろうか？ 想いを神様に向けよう！！

2021/7/9(金)

## II 歴代誌 15 章

神様の助けによって大勝利を収めた後、アザルヤを通して神様は呼びかけてくださった(1-7)。それを聞いたアサ王は奮い立ち、偶像を徹底的に除いたよ。また主への礼拝のための祭壇を新しくした。これはアサ王の神様への心の姿勢が表れているね。神様の臨在があったので、イスラエルからも多くの人が下ってきた。民には神様を心から喜ぶ姿があり、神様は守りと安息を与えてくださった。

2節のことばは今も変わらず真実だよ。「神に近づきなさい。そうすれば、神はあなたに近づいてくださいます。」(ヤコブ 3:8) 神様に近づくのは、君の心が決めることだよ。今日、君はどう生きる？

もし偶像(神様以外のものに頼るもの)があるなら、心を奮い立たせて、それを捨てよう！そして自分のベストを尽くして、イエス様を愛そう！！

2021/7/10(土)

## II 歴代誌 16 章

アサ王の最後のところが今日は書かれているね。アサ王の政治は人々が安心してくられて、偶像礼拝もなくして…と基本的には良いものだった。だけど、自分の力でなんとかしようとしすぎて、1番大切な神様との関係が崩れたまま彼はこの世を去ってしまったんだ。神様がアサ王に忠告を与えても、病になった時でも彼は神様に頼ることができなかった。

神様の願いは私たちが自力で成功することではなくて、私たちが神様とともに生きること、神様に頼り、神様を愛する者となること。もし、その道から外れてしまった時も神様は私たちに戻ってくるようにと語ってくれているよ。神様の語りかけに素直に聞き、悔い改める者となれるよう祈ろう！今日一日、神様に頼って歩もう！

2021/7/11(日)

## II 歴代誌 17 章

アサ王の後を継いだヨシャファテ王は、主なる神様に対して誠実に歩みました。3節には「主はヨシャファテとともにおられた」と書かれています。偶像の神を求めず、主の道を誇りとして歩むことで、神様はヨシャファテ王の手によって王国を確立されました。その結果、主の恐れが周りの国におよび、戦いを仕掛けてくる国はありませんでした。

戦いの多いこの時代においても、主の道を歩んだヨシャファテ王は争うことをせず、平穏な日々を手に入れることができたんだね。私たちも同じように、平安の中を歩むために必要なことは何か、ヨシャファテ王の歩みから考えてみよう。そして、今の自分自身の歩みはどうか、何を誇りとして歩んでいるのか思い巡らしてみよう。